

倶多楽火山

○化学組成から推定された深部熱水系の地化学温度

規模の大きな噴騰活動が発生した2010年6月中旬から7月上旬に規模の大きな噴騰活動があったものの、2010年1月以降の推定温度は210～230℃で推移していたが、2010年10月下旬に270℃にまで上昇し、その後も260℃前後の温度が現在まで続いている。270℃に達する温度は2007年5月の噴騰活動開始直後に観測されて以来であり、また2010年11月以降の推定温度も3年余り続く活動のなかでも高い状態である。現在、穏やかな噴騰活動が続いているが、日和山の噴気温度も依然として高く、今後の活動が注目される。

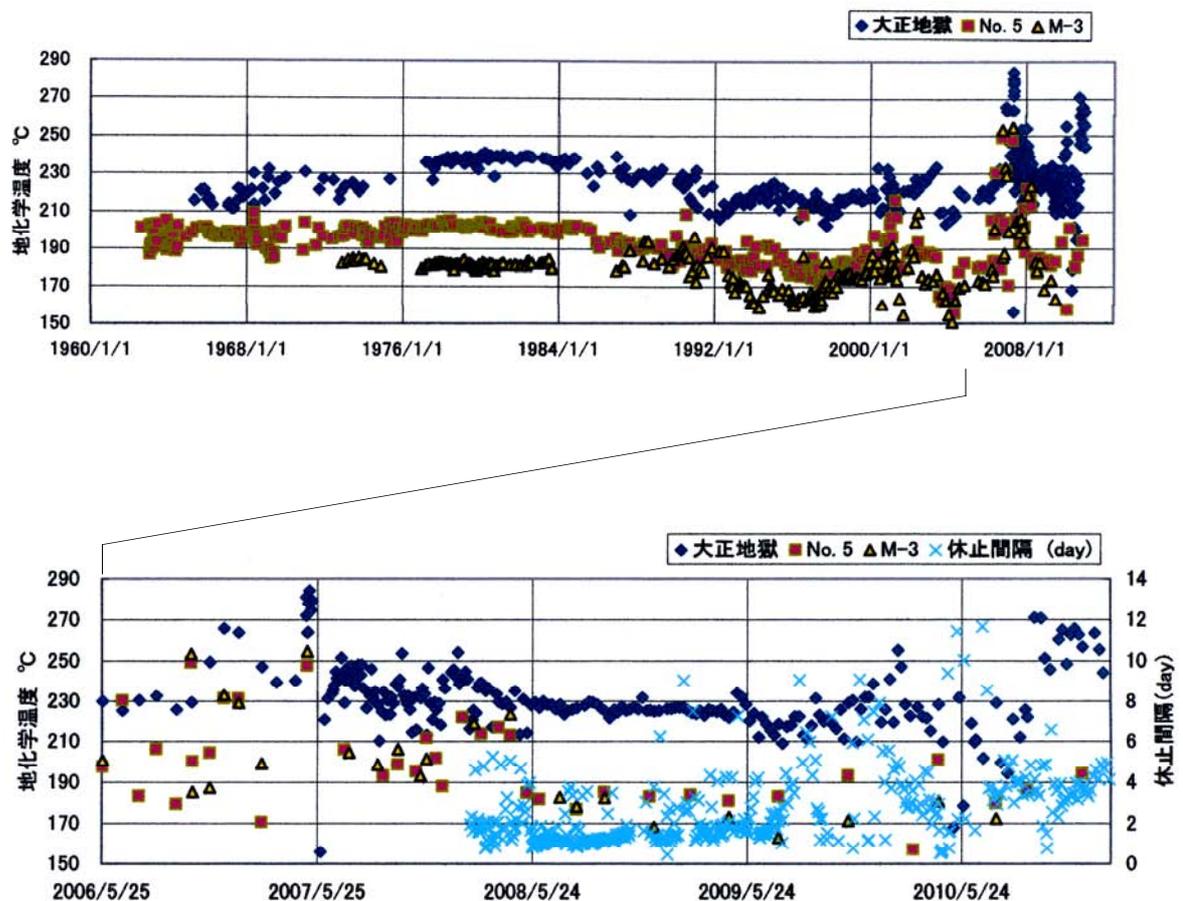


図1. 化学組成から推定された深部熱水温度の経年変化(上図)および熱水の地化学的温度と休止期間